

様式第 2 3 号（第 5 条関係）

令和 7 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所 在 地	笠岡市六島7572
協 議 会 名	六島まちづくり協議会
協 議 会 長 名	会長 三宅 千歳

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 6 年 6 月 1 日付け笠岡市指令協第 353 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第 5 条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

- 1 変更交付申請額 486,704 円
(交付金決算額)

〔内訳〕

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
500,000	486,704	0	13,296

- 2 交付金が減額変更になった理由

経費削減に努めたため

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第 2 4 号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第 2 5 号又は様式第 2 5 号の 1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	山道整備
前年からの繰越金	☐ あり ☒ なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	前浦集落より灯台までの山道及び灯台から湛江集落までの周遊山道、六島八十八ヶ所参りの参道を整備し、島民や大石山登山者の安全を守る。ハイキングコースとして活用し、大石山登山だけでなく、六島一周ウォーキングを新たな六島の価値として訴求し、来島者増、関係人口増を図りたい。
【効果】	山道の草刈りや整備、道を覆う木の枝を伐採する事で360度ビューでの隣接4県（広島、愛媛、香川、岡山）のしななみと瀬戸内海の多島美を鑑賞することができる。景観を守ると同時に、人が定期的に整備に入ることにより、イノシシの害獣対策にもなる。

2 実施期間

令和 6 年 6 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
(計画期間 年中 年目)

3 実施場所

島内

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 15 人（ア＋イ）
（内訳）企画運営に関わった人数： 13 人（ア）
その他関係人数（当日参加者等）： 2 人（イ）
○団体： (団体名) , (団体名)
(団体名) , (団体名)

5 実施内容

前浦集落から灯台までの山道及び、灯台から湛江集落までの周遊山道の整備として、主に観光シーズンやイベント前に年3回程度草刈り、樹木の伐採を実施する。また、数年前からイノシシによる水仙の球根掘り起し被害があり、景観が悪くなっている所の植え替え作業。参道の整備として、山道の舗装、草刈り、枯葉の除去、樹木の伐採等。

6 決算額

346,354 円（うち交付金分 346,354 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	観光や交流で訪れた人たちが安全に島散策することができた。今年度から山道に加え、島を周遊できるお大師道の参道整備も活動範囲に含めたため、協議会として声かけを行い、より多くの島民が作業に携わった。
【課題】	高齢化が進む島では担い手不足が直近の課題である。参道での作業は足場も悪く、危険も伴うため、山へ入るシーズンを限定するなどの対応も必要と考える。イノシシによる被害が年々ひどくなっているため、対策を考える必要がある。

様式第 2 5 号（第 5 条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	山道整備

【収入の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
市交付金	① 359,000	359,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	359,000	359,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
報償費	65,000	170,000	△ 105,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	247,000	134,174	112,826	〃
役務費	15,000	10,500	4,500	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費	32,000	31,680	320	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	359,000	346,354	12,646	決算額のうち市交付金分 ② 346,354

市交付金の余剰金 ①－② 12,646 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 12,646 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分活動交付金

活動名山道整備

費目報償費

No.1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	7	3	31	スタッフ	山道整備賃金@1,000円×20時間	20,000	20,000
2	7	3	31	スタッフ	山道整備賃金@1,000円×20時間	20,000	40,000
3	7	3	31	スタッフ	山道整備賃金@1,000円×20時間	20,000	60,000
4	7	3	31	スタッフ	山道整備賃金@1,000円×20時間	20,000	80,000
5	7	3	31	スタッフ	山道整備賃金@1,000円×20時間	20,000	100,000
6	7	3	31	スタッフ	山道整備賃金@1,000円×20時間	20,000	120,000
7	7	3	31	スタッフ	山道整備賃金@1,000円×10時間	10,000	130,000
8	7	3	31	スタッフ	山道整備賃金@1,000円×10時間	10,000	140,000
9	7	3	31	スタッフ	山道整備賃金@1,000円×10時間	10,000	150,000
10	7	3	31	スタッフ	山道整備賃金@1,000円×10時間	10,000	160,000
11	7	3	31	スタッフ	山道整備賃金@1,000円×10時間	10,000	170,000
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						170,000	

出 納 簿

交付金区分	活動交付金	
活動名	山道整備	
費目	需用費	消耗品費
No.	1	↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	9	6	ホリデー笠岡店	ナイロンコード他	5,478	5,478
2	6	9	13	ユーホー笠岡店	ナイロンコード、黒刃	16,170	21,648
3	6	11	20	ユーホー笠岡店	黒刃	8,822	30,470
4	7	3	14	ユーホー笠岡店	ナイロンコード、コードカッター	17,468	47,938
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						47,938	

出 納 簿

交付金区分活動交付金

活動名山道整備

費目

需用費

燃料費

No.1

↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	6	12	浅野石油	ガソリン120ℓ、2サイクルオイル3.2ℓ	23,696	23,696
2	6	7	10	浅野石油	ガソリン40ℓ、混合油20ℓ	11,324	35,020
3	6	9	13	浅野石油	ガソリン40ℓ、混合油60ℓ	19,612	54,632
4	6	11	20	浅野石油	ガソリン60ℓ	10,620	65,252
5	7	2	27	浅野石油	混合油40ℓ	9,048	74,300
6	7	3	25	浅野石油	ガソリン40ℓ	7,640	81,940
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						81,940	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 山道整備

費目

需用費

食糧費

No.

1

↑ドロップダウンリスト
から選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	9	13	ザグザグ笠岡番町店	ペットボトルお茶 2ケース	4,296	4,296
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						4,296	

出 納 簿

交付金区分活動交付金

活動名山道整備

費目

役務費

通信運搬費

No.1

↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	7	3	31	スタッフ	ガソリン他運搬船賃	10,500	10,500
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						10,500	

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 1

協議会名	六島まちづくり協議会
活動名	山道整備

活動目的	前浦集落より灯台までの山道及び灯台から湛江集落までの周遊山道、六島八十八ヶ所参りの参道を整備し、島民や大石山登山者の安全を守る。ハイキングコースとして活用し、大石山登山だけでなく、六島一周ウォーキングを新たな六島の価値として訴求し、来島者増、関係人口増を図りたい。
実施内容	前浦集落から灯台までの山道及び、灯台から湛江集落までの周遊山道の整備として、主に観光シーズンやイベント前に年3回程度草刈り、樹木の伐採を実施する。また、数年前からイノシシによる水仙の球根掘り起し被害があり、景観が悪くなっている所の植え替え作業。参道の整備として、山道の舗装、草刈り、枯葉の除去、樹木の伐採等。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域の人みんなで共有することができたか。	4
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をととして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
観光や交流で訪れた人たちが安全に島散策をすることができた。今年度から山道に加え、島を周遊できるお大師道の参道整備も活動範囲に含めたため、協議会として声かけを行い、より多くの島民が作業に携わった。	高齢化が進む島では担い手不足が直近の課題である。参道での作業は足場も悪く、危険も伴うため、山へ入るシーズンを限定するなどの対応も必要と考える。イノシシによる被害が年々ひどくなっているため、対策を考える必要がある。
今後の活動の方向性・改善策	
今年度から運用を始めた六島公式LINEを活用して、島外に住む六島関係者や六島ファンにも協力してもらえるよう情報共有を行う。	

様式第24号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	「せとうち六島塾」の開催
前年からの繰越金	☐ あり ☒ なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	過疎高齢化の中、六島まちづくり計画では「外部のサポート人材の獲得」を掲げている。島外の方が、まず、関係人口として関わり、そして、「移住」につなげる事業展開が必要。島の良さを積極的に島外の方々に伝える取り組みを「塾形式」で実施することにより、関係人口を増やす取り組みとする。
【効果】	島暮らしは島民の方々が一番よく知っていることであり、島民が講師になることでより暮らしを体験できるプログラムになる。昨年度、塾生として参加した方の中には、すでに関係人口として度々来島し、六島レモンを使ったぼん酢の試作品作りを始めている方もある。

2 実施期間

令和 6 年 6 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
(計画期間 年中 年目)

3 実施場所

島内

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 45 人（ア＋イ）
（内訳）企画運営に関わった人数： 15 人（ア）
その他関係人数（当日参加者等）： 30 人（イ）
○団体： （団体名） 六島小学校 , （団体名） 岡山学院大学
（団体名） , （団体名）

5 実施内容

6月	「せとうち六島塾」塾生募集（10名程度）
9月	1回講座 島でのボランティア活動による島民との協働作業の実施（植えるカムツアー） 島講師：中尾重規・水仙の島づくりについて
10月	2回講座 島の資源を活用した「暮らし体験」の実施 島講師：三宅勇人・島へのUターン、湛江地区里山再生計画について
11月	3回講座 島の資源を活用した「暮らし体験」の実施 島講師：三宅一三・いじき採りや六島流の釣りについて

6 決算額

140,350 円（うち交付金分 140,350 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	島民が講師となることで、リアルな島暮らしや島の課題、必要とする支援などを塾生が知ることでき、積極的に関係人口として、自分の得意分野で島に関わりを持ってくれている。昨年度の塾生OBが記録や広報などに使うため写真を提供してくれた。塾生の中には小学校の校長先生との会話から小学校の大掃除の手伝いを企画し、積極的に島との関わり方を実行する方もあった。
【課題】	3回の来島では島の課題や現状を把握してマイプランを発表するまでには至りづらい。島に関心を持った方はその後も足を運んでくれているので、来年度以降の活動にも協力依頼し、関係性が途絶えてしまわないようにしたい。

様式第 2 5 号（第 5 条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	「せとうち六島塾」の開催

【収入の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
市交付金	① 141,000	141,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	141,000	141,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
報償費	80,000	80,000	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費	49,000	54,120	△ 5,120	〃
需用費	12,000	6,230	5,770	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	141,000	140,350	650	決算額のうち市交付金分 ② 140,350

市交付金の余剰金 ①－② 650 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 650 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分

活動交付金

活動名

「せとうち六島塾」の開催

費目

報償費

No.

1

[illegible]

出 納 簿

交付金区分活動交付金

活動名「せとうち六島塾」の開催

費目旅費

No.1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	12	3	エリアイノベーション	実施に伴う交通費他（請求書あり）	54,120	54,120
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						54,120	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 「せとうち六島塾」の開催

費目	需用費	印刷製本費
----	-----	-------

No.	1	↑ドロップダウンリスト から選んでください。
-----	---	---------------------------

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	7	3	25	エフ・プランニング	募集チラシ印刷代 1000枚	6,230	6,230
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						6,230	

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 2

協議会名	六島まちづくり協議会
活動名	「せとうち六島塾」の開催

活動目的	過疎高齢化の中、六島まちづくり計画では「外部のサポート人材の獲得」を掲げている。島外の方が、まず、関係人口として関わり、そして、「移住」につなげる事業展開が必要。島の良さを積極的に島外の方々に伝える取り組みを「塾形式」で実施することのより、関係人口を増やす取り組みとする。
実施内容	6月 「せとうち六島塾」塾生募集（10名程度） 9月 1回講座 島でのボランティア活動による島民との協働作業の実施（植えるカムツアー） 島講師：中尾重規・・水仙の島づくりについて 10月 2回講座 島の資源を活用した「暮らし体験」の実施 島講師：三宅勇人・・島へのUターン、湛江地区里山再生計画について 11月 3回講座 島の資源を活用した「暮らし体験」の実施

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域の人みんなで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をととして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
島民が講師となることで、リアルな島暮らしや島の課題、必要とする支援などを塾生が知ることでき、積極的に関係人口として、自分の得意分野で島に関わりを持ってくれている。昨年度の塾生OBが記録や広報などに使うため写真を提供してくれた。塾生の中には小学校の校長先生との会話から小学校の大掃除の手伝いを企画し、積極的に島との関わり方を実行する方もあった。	3回の来島では島の課題や現状を把握してマイプランを発表するまでには至りづらい。島に関心を持った方はその後も足を運んでくれているので、来年度以降の活動にも協力依頼し、関係性が途絶えてしまわないようにしたい。
今後の活動の方向性・改善策	
目に見える成果物は無かったため、達成感にかけける参加者がいた。サポート人材獲得のためには必要な活動なので、次年度以降も続けるが、実施要領を検討し直し、参加者も地域も達成感の得られる活動にしたい。	